

前立腺癌に対する各種治療方法の治療成績に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2022年1月26日 ~2025年5月31日

〔研究課題〕

前立腺癌に対する各種治療方法の治療成績に関する研究(多施設共同後向き観察研究)

〔研究目的・研究意義〕

前立腺癌に対する治療方法として、ロボット支援前立腺全摘除術を含めた手術、放射線療法、ホルモン療法、化学療法など多くの治療方法が存在します。これらの治療方法は初期治療、2次や3次の治療方法として行われる可能性があります。本研究では、当院を含む複数の病院で治療成績や合併症を含む臨床経過を後ろ向きに詳細に調査し解析することを目的としています。

〔対象・研究方法〕

2011年10月1日から2023年12月31日に当院で前立腺癌に対する初期治療を開始した患者さんの診療記録を研究の対象といたします。治療成績、生命予後、治療に伴う有害事象、尿禁制や性機能の回復などの臨床経過を明らかにし、統計的な解析を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部泌尿器科学講座 責任者:中川徹(泌尿器科学講座主任教授)

主任研究施設:東京大学医学部附属病院

他の参加施設:千葉徳洲会病院、三井記念病院、国立国際医療研究センター、自治医科大学附属病院、日本大学医学部付属病院、杏林大学医学部付属病院、八潮中央総合病院

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて個人が特定出来ない様に加工されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。研究終了後に、加工された情報の対照表およびデータセットは倫理委員会事務局に提出され、帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。なお、ご承諾いただけない場合にご連絡いただく期限は、倫理委員会審査承認2か月後の末日とさせていただきます。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:中川徹(帝京大学医学部泌尿器科学講座主任教授)

研究分担者:金子智之(帝京大学医学部泌尿器科学講座准教授)

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔泌尿器科内線 7721〕